

幼小接続

ステップアップのヒント

モデル地域の取組を参考に、幼小接続の取組をステップアップしていきましょう。



保護者も不安を抱えています。情報発信や保護者同士の交流も有効です。

- まずは、園・所又は学校の実態をつかみましょう。
- 次に、接続先の園・所又は学校の取組のねらいを知りましょう。
- そこから、
 - ・自園・所、校でできること
 - ・接続先でできること
 を考えてみましょう。



ステップ0 (連携の予定・計画がまだない)

- 多忙で接続に取り組む時間がない。
- 何から始めていいか分からない。
- 交流をしたいが交流先が遠いので子どもたちが行くことができない。
- 接続先が多く、進めにくい。

こんな交流もできます

- 便りを届けて子どもや教育について知ってもらおう。
- プールや校庭を借りて活動してみよう。
- 休み時間に交流しよう。



授業参観だけでなく施設見学からも、教育の様子が分かります。

- まずは、教職員同士が顔見知りになります。
- できることから始めましょう。
新しいことを始めなくても、
 - ・これまであるものを共有する
 - ・一緒にしてみる
- 全員で時間を合わせなくとも、
 - ・すき間の時間を利用する
 - ・少人数から始める
 ことなら、取り組むことができるのでは？

つくる

ステップ1

連携、接続に着手したいが、まだ検討中である。

- 子どもの不安や戸惑いが分かった。解消の方法を相談したい。
- 子どもの発達の様子を伝えたい。
- 保育や授業を参観したい。



ステップ2

年数回の授業、行事、研究会などの交流があるが、接続を程の編成・実施は行われていない。

- 互いの教育を知るために、授業・保育参観をしている。
- 子どもの発達の様子について協議する機会をもっている。
- 交流活動の事前打合せをしている。
- 交流活動の事後の話し合いをもっている。



つなげる

ステップ3

授業、行事、研究会などの交流が充実し、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている。

- 子どもの姿から、どんな活動が必要なのか話し合っている。
- 育てたい力を年間計画や教育課程に位置付けている。
- 接続期の姿を見通して、接続期のカリキュラム作成をしている。



相手意識をもった交流の中で、自分自身の成長を実感したり、自己肯定感を高めたりしていきます。

接続の中で育んだ力は、教室、保育室での子どもの姿に現れています。



市町村教育委員会等が一緒なら、取組は更に広がります。

つみあげる



ステップ4

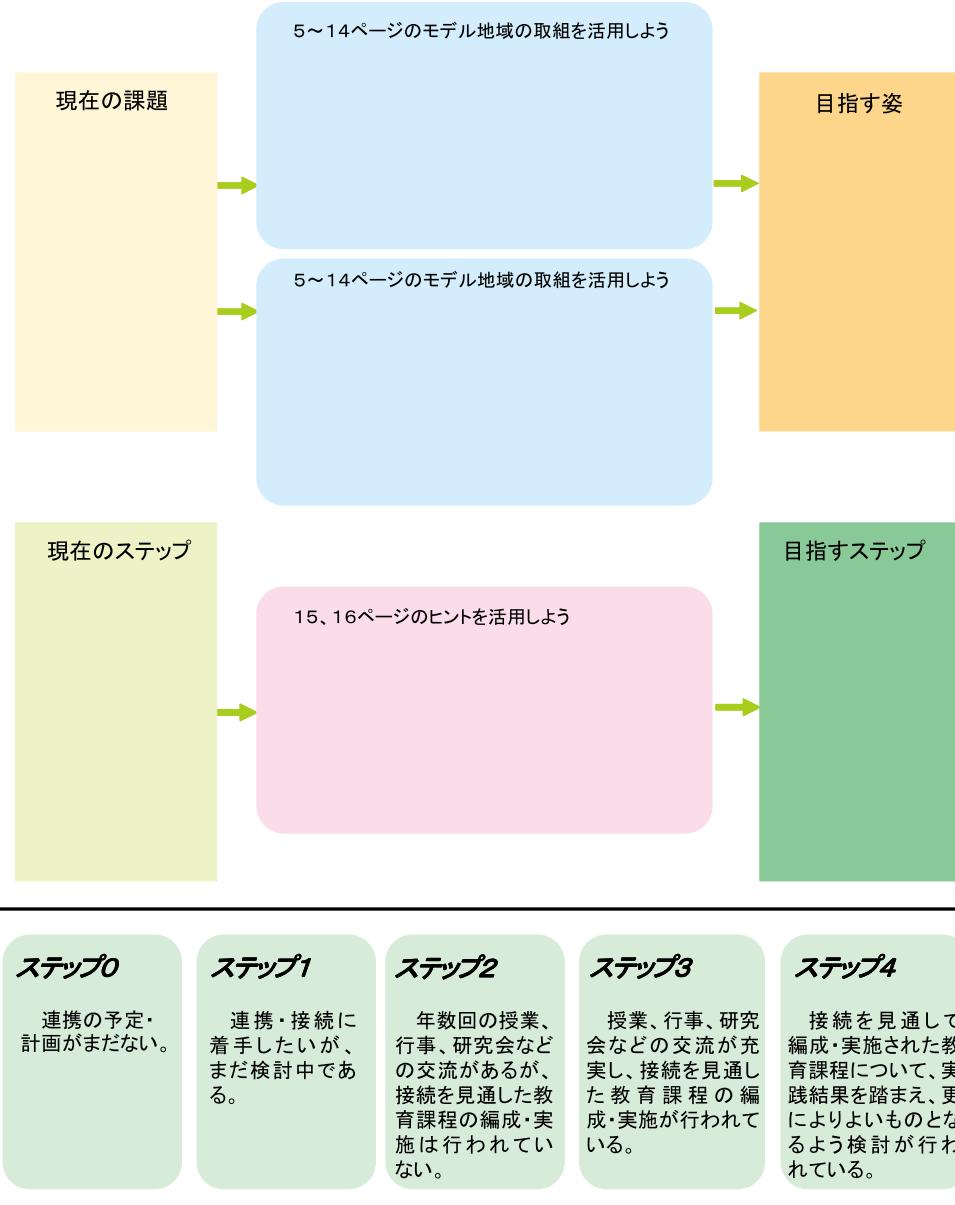
接続を見通して編成・実施された教育課程について、実践結果を踏まえ、更によりよいものとなるよう検討が行われている。

- 教職員同士が課題を共有し、教育課程や接続期カリキュラムを見直している。
- 幼稚園・こども園・保育所と小学校が連携し、共に接続について検討している。



あなたの地域の幼小接続について考えよう！

あなたの地域の園・所や小学校の幼小接続はどのような現状でしょうか。また、どのようにしていきたいと考えているでしょうか。各園・所、学校で具体的に考え、ステップアップの手がかりを見付けてみましょう。



| 平成28年度幼児教育推進体制構築事業 | | |
|--------------------|----------------------------|-------------------------|
| 【モデル地域、研究協力園・校】 | | |
| 市町村 | 研究協力園 | 研究協力校 |
| 大和郡山市 | 大和郡山市立矢田南幼稚園 | 大和郡山市立矢田南小学校 |
| 天理市 | 天理市立丹波市幼稚園 | 天理市立丹波市小学校 |
| 宇陀市 | 宇陀市立榛原東幼稚園 | 宇陀市立榛原東小学校 |
| 川西町 | 川西町立川西幼稚園 | 川西町立川西小学校 |
| 吉野町 | 吉野町立よしのこども園 吉野町立わかばこども園 | 吉野町立吉野小学校 吉野町立吉野北小学校 |

【指導助言】
兵庫教育大学 准教授 鈴木 正敏

平成29年3月発行
編集・発行 奈良県就学前教育センター
〒636-0343 奈良県磯城郡田原本町秦庄22-1
TEL 0744-33-8902 FAX 0744-33-8909

